



西原町

ぎがしだより

No.86

2020(令和2)年
12月1日発行

9月議会

今回の表紙題字
西原小学校3年

みやぎ まひろ
宮城 茉弘さん



西原東中学校技術部 3年生
ロボット制作とバンドやってます！
昨年、第20回ロボコン大会で優勝し九州大会出場しました。

12月4日(金)午前10時 12月定例会開会予定

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。



いじゅ さとる
伊集 悟 議員



かどうかよりも、子供たちが理解しているか。子供たちの力になっていくのが大事。例えば、小学校では各学校の単元テストの通過率等で評価し、達成できない場合は、復習や放課後の補習等で対応している。

■コロナ禍の学童クラブの支援拡充と学校連携の必要性

問 3月議会では、学童クラブへ定期的な臨床心理士の訪問による指導助言の必要性と継続実施を求めた。その後の進捗状況について伺う。

福祉部長 現在、巡回訪問を希望する学童の集約を行い、実施に向けて臨床心理士の日程調整を進めている。

問 3月議会で、文科省と厚労省が共同策定した「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、学校と学童の密接な連携の必要性と、連携の仕組みづくりを急ぐよう提案したが、その後の取り組みを伺う。

福祉部長 コロナ禍での情報共有の必要性から緊急事態宣言期間中の登下校時間の変更等を各学童へ連絡するなど、できることから取組を進めている。

問 8月に町内の保育園、学童クラブで感染者が発生。町のHPで公表。翌日には新聞やネットでも報じられた。各保育園や学童に保護者から「ト

使用可能人口1万4,894人に対し、接続済み人口9,867人となっている。面積整備率は38.1%で計画面積853.2ヘクタールに対し、供用開始面積325.4ヘクタールとなっている。事業費ベースの進捗率は54.7%で総事業費150億円に対し、81億9,966万9,669円を執行している。次に地域ごとの普及率は、大字ごとでおおよその数字となるが、幸地0.9%、棚原4.0%、翁長26.7%、呉屋92.0%、津花波96.9%、小橋川97.7%、内間26.4%、掛保久61.4%、嘉手苅64.6%、小那覇75.9%、兼久62.9%、与那城81.5%、我謝82.5%、安室2.6%、小波津67.4%、東崎96.6%である。

問 コロナ禍につき西原町の独自事業はどうか。建設部長 事業者に対し5万円を給付する西原町中小企業等緊急支援事業を実施中である。また、上水道と下水道基本料金の3か月分の半額を実施してきた。

問 去る9月4日の琉球新報によると、この10年間で、県内の特別支援学級が3倍になっていると報じられている。この件につき町教育委員会

ちではないか」等の問合せが増え、各施設に情報がなく、対応に苦慮したと。保育連や学童連には事情を説明し、保護者を安心させる説明や差別偏見防止のためにも、公表の仕方について見直しが必要ではないか。

問 コロナの影響で収入減になった町の非正規公務員の有無の問いに町長部局ではないとのことだが、坂田保育所の年休代替保育士が前年と比べて収入が6割減、中には9割減になった職員がいる。何の補償もない。どういうことか。

問 コロナの影響で収入減になった町の非正規公務員の代わりに勤務する保育士。時給での給与支給のため収入減少に当たらないとの認識だが、今回4月、5月にコロナ禍の中で勤務体系が異なってきた。現場から課題事項等を聴取し、働き方について改善を図る必要な部分是对応していきたい。

はどう分析し、どのような見解をしているか。
教育部長 障害を持つ幼児、児童生徒にかかる教育は平成19年施行の一部改正学校教育法に、特別支援教育が位置付けられたことにより全ての学校において支援の充実が図られることになった。改正学校教育法により、これまでの特殊教育が特別支援教育に代わるとともに、LD（学習障害）やADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症などの障害のある幼児、児童、生徒も指導、支援の対象となった。特別支援学級の増加もその頃からだと考える。増加の理由として一つ目に特別支援教育、発達障害への理解が広がったこと、二つ目に支援学級が設置基準の見直しにより容易になったこと、三つ目は対象児童が市町村立学校に就学するようになったことなどが考えられる。

その他の質問
●上間町長の三期12年の公約実現について
●コロナウイルス感染症の拡大防止について
●子どもの貧困対策事業について
●コロナの西原町の実情
●コロナ感染者の自宅療養の仲

この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

■子どもたちの学習の取り戻しは、習熟の評価が重要

問 緊急事態宣言下において、本町は休校にせず、午前中授業、給食後帰宅の短縮授業にしたのはよかった。今回の補正予算で可決された学習支援員8名の増員にも期待する。学習の遅れを取り戻すために授業時数の確保、提供することは大切だが、それよりも子供たちがちゃんと取り戻せたか、習熟したかが重要。どうチェックするのか。取り戻しできない児童生徒が出た場合の対応は。

教育総務課主幹 各学校で学習活動の重点化を進めている。議員のいうように、大切なのは進んだ



まえさと こうしん
前里 光信 議員



■公共下水道について

問 西原町の公共下水道について、現在どのような状況にあるか、数字で示して説明されたい。普及率について地域別にはっきりしていれば、その説明を求め。

建設部長 本町の公共下水道事業は、平成8年度に着手し、全体計画面積が853.2ヘクタール、総事業費約150億円、完了年度を令和17年度として事業を進めている。令和元年度末の整備状況は、下水道普及率が42.4%であり、町人口3万5,141人に対し、下水道使用可能人口1万4,894人となっている。接続率は66.2%で下水道

この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

●本委員会が最終確認・編集をしたものです。



みやざと よしお
宮里 芳男 議員



町行政運営について

問 上岡町長は三期12年の任期が10月5日までとなっている。(1) 12年間の公約実現について伺う。(2) 課題として今後、引継ぐ事業等は。(3) 次期町長に期待することは。

町長 (1) 一期から二期にかけて20以上の政策を実現してきた。その特徴的なものは、新庁舎建設、防災行政無線システムの整備、道路排水整備、我謝白川原線整備、平園線整備、内間御殿の国指定等があり、三期目は保育園の整備、西原南児童館建設、西原さわふじマルシェ施設の建設等多数の事業展開をしてきた。(2) 内間御殿の完成、大型M-



やましろう かつたか
山城 勝貴 議員



延長保育について

問 現在認可保育園では3事業所が延長保育を休止する状況があるが、法人運営をされている園では、人件費で法人の負担が大きくなってしまふことで、やむを得ず休止を選択せざるを得ない状況があるのではないか。補助率と現状を伺う。

いづも課長 延長保育事業に取り組んでいる認可保育園への補助金については、年間平均6名に満たない施設に関して、年額30万円、6名を超える施設は年間134万2,000円の範囲内で補助金を交付している。大体の施設に関しては、通常保育が11時間、それを超えた1時間分を延長保育事業として

CE施設に関連した後背地の土地利用、浦西駅周辺の徳佐田地区、幸地インター周辺の土地区画整備事業等。(3) 住民自治という視点で町民本位のまちづくりを目指してほしい。財政健全化に主眼を置き、実践しながら、将来の西原町発展を視野に入れた取り組みを希望する。

坂田ハイツ内道路について

問 (1) 坂田ハイツ内のメイン道路は開発時に現在の道路と旧農道との付け替え道路の申請し、許可証が発行されている。現道路と旧農道との関係を伺う。(2) 坂田ハイツ内道路は測量及び分筆登記がされていないが、非課税になっている。明確な答弁を求める。

都市整備課長 (1) 里道で建築するためには道路の位置指定が必要で、建築確認申請を行っており、町道に移管することにはなっていない。

総務部長 (2) 航空写真、地籍併合図や現状を確認、地権者と協議して確定したと思われる。

新型コロナウイルスについて

問 第2波が8月にあり、今後第3波が予想される。(1) 学校での対策は。(2) 町内事業所での対応は。(3) 町内民間病院でのPCR検査等の対応策は。

教育部長 (1) 西原町立学校学校新型コロナウイルス

担っていただいております。シフトで1時間延長して、超動をして対応していると思定をしています。この課題等については、先生方からの意見を踏まえて、役場として対応が可能な部分について協力していきたい。

保育士確保について

問 「保育士試験受験者支援事業」、「保育補助者雇上強化事業」に取り組んでいるが、事業を活用して資格を取得された方が他市町村で働くことになっては、この事業の内容も本末転倒になってしまふのではないかと懸念がある。保育士の人材流出を防ぐため、人材確保のための取り組みは。

いづも課長 保育士不足の対策においては、昨年度から発達支援保育という事業を各園で担っていた。従来は有資格者の設置をお願いしていた。昨年度各施設から、何とか有資格者以外の方でも補助金の交付ができないかという相談があり、要件を緩和して、今年度から取り組んでいる状況である。

障がい者の社会参加、雇用促進について

問 障がい者の就労機会の創出、理解啓発について現在町が主体となって進めている取り組みは。

に関する観戦所予防ガイドラインに沿って行っている。

建設部長 (2) 各業種別に県が示しているガイドラインに基づき、営業を周知している。又、地元応援商品券を10月より配布する。

福祉部長 (3) 現在県において、医師会と調整のため、町内の民間病院での検査は把握していない。

問 新型コロナウイルスによる特別定額給付金について。(1) 最終的な給付金の状況は。(2) 申請はマイナンバーでも出来るが、活用件数は。又、現在の交付件数を伺う。

総務部長 (1) 対象世帯1万4,907世帯、給付件数1万4,824世帯、対象人数は3万5,434人、給付人数3万5,350人、支給総額35億3,500万円。(2) オンライン申請件数181件受理。又、全体の交付件数は令和2年9月6日時点で4,015件。

その他の質問

- 農水産物流通・加工・観光拠点施設について
- 県道浦添西原線、那覇北中城線の進捗状況
- 小那覇地区浜田川氾濫について

福祉部長 西原町では就労部会を設置し、意見交換等を行っている。昨年度はスポーツ交流大会や活動状況等展示会を開催し、各事業所間の連携の強化と障がい者の就労への理解促進に努めてきた。また、農福連携の実現にも取り組み、現在1件の事業所のマッチングが成立している。

町道の管理について

問 棚原では町道棚原1号線が一部決壊している状況がある。住民の方々から被害が出てからでは遅いのではないかとこの声がかかる。決壊箇所の補強は可能か、また、被害が出た際の補償について、町の対応を伺う。

建設部長 現在棚原1号線は補修の方法を土木設計コンサルタントのアドバイスも受けながら検討しているところであり、対処方法が決まり次第、早めに修繕作業を行っていききたい。道路崩壊により被害が出た場合は補償の可否も含めて町が加入している保険会社と相談して対応することになる。

その他の質問

- 坂田小、坂田幼稚園の環境整備について
- コロナ禍の精神保健福祉の状況について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

●本委員会が最終確認・編集をしたものです。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まえしろ かつ 真栄城 哲 議員



経営相談窓口設置事業の開始

問 本事業は、6月議会で窓口の早急な設置を求めた回答と捉える。その中の専門家派遣費、事務局業務費、管理費の内容を伺う。

建設部長

経営窓口相談は、9月3日より相談業務を開始（火・木曜日、午前10時～17時）。行政書士が手続き支援や各種経営相談に対応する。事務局は、相談員の出退勤の管理や相談内容の整理、周知等を行う。管理費は一般管理費となっている。

オンライン授業環境整備

問 整備内容のオンライン授業などライブ・動画コンテンツ作成の詳細と当然、ネット環境の

整備が必要になってくると考える。その工程を伺う。

教育部長

オンライン授業には二つの方法があり、授業や概要を撮影・編集し、動画サイト等で児童生徒が見る非同期型と授業をライブ配信する同期型がある。本町では両方に対応できるように整備する。また、各学校の無線環境の整備については、年内の完了を想定し、家庭の通信環境については、通信費の課題もあり、通信環境が無い世帯へのWi-Fiルーターの貸出しは、今のところ予定してない。

問 ネット環境が整っていない家庭の児童生徒へのサポートはどの様に行っていくのか。

教育総務課主幹

現行のプリントやドリル教材での対応や感染防止に努めながら分散登校の実施。パソコン室を有効活用しながら、学びの保障を行う。また、来年1月以降、学習用端末を使った個別学習への対応も考えている。

財政・国保赤字解消に「光」

問 財政運営が厳しい中、前副町長以下がご苦労され、その道筋はしっかりと立てられたと思う。特に国保の赤字解消計画については、財政も含め総務財政常任委員会として注視してきた。この計画は現実味のある、希望の持てる計画だと感じる。町長、今後は後任へ委ねるが、どう伝え、どうやっていって欲しいのかを伺う。

問

(1) 上間町長の後継者であった、小橋川氏の敗因には。(2) 投票率の低下について所感は。(3) 新町長、崎原盛秀氏に託すことは。

町長

(1) この件については、控えさせてもらう。(2) 一つ目は、コロナの影響が要因だと思う。二つ目は、両候補者に政策の違いがあまり無かった。三つ目は、6月の県議選挙から、町議会議員補欠選挙や9月の町長選挙と続いたので選挙疲れの影響があったと思う。(3) 住民自治という視点を第一に考えること。厳しい財政状況の中、常に財政運営については、収支のバランスを取り、しっかり実践していくのが大事である。そういう面では期待します。

西原さわぶじマルシェを質す

問 (1) チャレンジショップ4店の応募は何件あったか。(2) これまでワークショップは、何回実施したのか。(3) 西原劇場について、ア. 設置時期と人員は。イ. 運営費等は。

建設部長

(1) 応募者9名より4店が決定している。(2) 令和元年5月に指定管理者と基本協定の締結後は、キックオフ祭を開催、9月には、オープンに向けた住民説明会を4回開催、概要や運営方針、今後のスケジュール等を説明した。令和2年度は、第2回キックオフ祭等を準備していたが、コロナ禍の影響で中止を余儀なくされた。(3) ア. 12月開設で、3名の人員を予定している。イ. 西原町

町長 前副町長以下、職員が一体となり取り組み、見通しが立てられたと思う。改めて感謝したい。今後は、財政は好転したかにみえるが、これからも優先順位を決め、その上で財政計画、予算編成を進めていく事が大事だと考える。やはり緊張感を持って取組んでいく事が大事だと思う。また、来年度以降、地方交付税がどうなるのか、本町の税収面がどうなるのか。極めて不安材料がある。そういうところも見据えながら、しっかりとした財政運営をしていく事が大事だと思っている。

その他の質問

- RPA関連事業
- 西原さわぶじマルシェ
- 観光まちづくり協会



観光まちづくり協会と指定管理者で運営し、その費用は、双方協議していく。

道路行政を質す

問 (1) 呉屋・安室線工事の進捗率と完成時期を聞く。(2) 同線の区間を前倒しで工事着手出来ないか。

建設部長

(1) 令和2年3月末時点で事業費ベース約13%、工事費で0%、用地費で約12%です。事業完了は令和5年度だが、今後事業期間を4年から5年延ばす方向で調整を考えている。(2) 小波津川の橋梁設計が今年度から年度で発注予定であり完了後に整備を検討する。

国道329号西原バイパス(仮称)事業計画を聞く

問 西原バイパス3.6kmの概算工事費は。

建設部長

第3回の計画段階評価資料では、総事業費120億円と記載されている。

その他の質問

- 新型コロナウイルス関連について



やびく みつる 屋比久 満 議員



上間町長へ町政運営を質す

問 (1) 在任中、公約は、実現できたか? やり残しはないか。(2) 本町の今後の課題等は。

町長

(1) 1期から2期にかけて、20以上の公約を掲げたが、概ね達成できたと考えている。一つ目には新庁舎建設。30年前からの課題であったが、複合施設として、新庁舎、市民ホール等を建設した。3期目は、西原南児童館建設等がある。(2) 徳佐田地区、幸地地区の区画整理事業、高速道路インターチェンジ周辺の整備が、財政事情で事業化の決定が出来なかったことが課題。

新町長の誕生に関する所見を聞く

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



ぎま しゅんたろう
儀間 駿太郎 議員



わっていくが、デジタル化の計画等はあるか質したい。
総務課長 今のところ具体的な計画はない。ただ非常に便利な仕組みだと理解しているので、少し時間を頂きながらどこまでできるのか検討する。

問 新型コロナウイルス感染症対策として町施設の閉館・閉鎖を行ったが、その効果についてはどう考えるか。
総務課長 不要不急の外出を控えていただき、人と接触する機会を減少させ、感染拡大防止を図る目的で実施し、実施後の新規感染者数は減少しており、一定の効果はあったと考えている。

問 公園等の駐車場や遊具等の開放を行っている他市町村もあり、本町も独自の対策等も考えてもよいかと思うが、町としてはどう考えるか。
都市整備課長 県の新型コロナウイルス感染症対策本部で出された警戒レベルの指標を基に今後、県の指導も受けながら、町の対策も会議に諮って検討する。

ウイズ・コロナの行政運営について

問 役場の窓口業務のオンライン化や人員のテレワーク等の推進も一般的な企業では進めているが、そのような面を今後町としてどのように考えるか。
総務課長 役場業務のオンライン化は、機械的な仕組み・職員体制等をふまえて検討していく必要があると考えている。

問 働き方改革が近年進められていく中で、国もデジタル化を推進しており状況が急速に変

福祉部長 4月1日現在の待機児童数は63人となっている。また、待機児童解消を図る為に、保育士業務の負担軽減のための保育補助者雇上げに対する補助、保育試験の対策講座などに取り組んでいる。

問 現在の待機児童数を考えた場合、どのくらい保育士が不足と考えられるか。
こども課長 町内の認可保育園5か所において合計16名の保育士が不足しており、16名の方が採用された場合、68名の児童が預かれると考えている。

問 新型コロナウイルス感染症流行の恐怖もありながら西原町の子供達を保育してくれた保育士の方々に、町として何かしらの支援等をすべきではないか。
こども課長 こども課としては、今のところ考えていないが、他市町村の取り組み等を調査し検討したいと考えている。

西原町の保育行政の現状とこれから

問 西原町での現在の待機児童数と待機児童を解消するための西原町の計画について問う。

町長 町民の皆様には当然のことながら様々な御意見・主張があると思う。それによって行政に対する評価が分かれると思う。評価があつてこそ健全な民主主義の社会だといえるのではないかと思う。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 新型コロナウイルス感染症対策について西原町の発生状況について問う。

福祉部長 新型コロナウイルスの患者さんについては年代、性別、職業の状況については把握しているが、療養状況や重症度等については把握していない。

問 教育・保育現場での発症は、行政ではどのような対応をしているのか。特に一番リスクの高い小学校、中学校、幼稚園、保育の現場では、どう対応しているのか問う。

教育部長 町内の学校で感染が確認されているが、家族等の感染により児童生徒や教職員の濃厚接触者の指定、PCR検査が実施されている。又、新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル、学校の新しい生活様式及び県教育委員会から出された県立学校におけるガイドラインを参考に西原町立学校新型コロナウイルスに関する感染予防ガイドラインに則り、行っている。

町長選挙について

問 9月に行われた町長選挙について問う。本町の有権者の投票率が史上最低の47.6%となりこの現状についてどう捉えているのか問う。

町長 コロナ禍における選挙で高齢者の皆様の投票行動が抑制され候補者の両者の対立軸・争点がなかった。又、町民の皆さんに今年の選挙疲れがあったのではないかと思う。

問 行政に対して町民から見えない不満、距離があると感じているが、町長としてどのように感じているのか問う。

建設部長 兼久東崎線の令和2年3月末現在の進捗率は、事業費ベースで79%、用地費で90%、工事費で33.5%。次に兼久・安室線の令和2年3月末時点の進捗状況は事業費ベースで6.7%、工事費0%、用地費で4.4%となっている。

問 兼久・東崎線の放置車両について
兼久東崎線のごみを積んだ車両の状況について問う。

土木課長 警察の立会い、又、顧問弁護士のほうに今月、調整をしながら相談して進めていきたい。

問 兼久東崎線と兼久安室線の整備が進んでいるが整備の状況を問う。兼久交差点から西原小学校の入口まで家屋の撤去があり、あと一軒交渉が成立すれば形が見えてくると思うが、進捗状況も問う。

建設部長 さわりん地元応援商品券は10月中旬の発送を予定している。

問 本町の町内企業消費拡大商品券事業は、いつ実施されるのか問う。

道路整備・住環境整備について

問 現在兼久東崎線と兼久安室線の整備が進んでいるが整備の状況を問う。兼久交差点から西原小学校の入口まで家屋の撤去があり、あと一軒交渉が成立すれば形が見えてくると思うが、進捗状況も問う。

建設部長 兼久東崎線の令和2年3月末現在の進捗率は、事業費ベースで79%、用地費で90%、工事費で33.5%。次に兼久・安室線の令和2年3月末時点の進捗状況は事業費ベースで6.7%、工事費0%、用地費で4.4%となっている。

問 兼久・東崎線の放置車両について
兼久東崎線のごみを積んだ車両の状況について問う。

土木課長 警察の立会い、又、顧問弁護士のほうに今月、調整をしながら相談して進めていきたい。

その他の質問
●土地区画整理事業について
●国道329号バイパスの進捗について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



ながはま
長浜 ひろみ 議員



るために、包括的な支援体制が必要となったため、社会福祉法が改正された。その内容は、介護、障がい者福祉、子育て、生活困窮の相談、支援に関する事業を一体化して実施し、属性にかかわらず受け止める、断わらない相談支援体制を市町村で構築することに加え、新たに参加支援、地域支援づくりをセットで行う重層的支援体制整備事業を明記している。さらにそれを支えるものとして、伴走型支援、多機関協働支援プランの策定も新たに盛り込まれている。

問 8月28日締切りで厚労省から自治体に対し、事業実施の意向等についてアンケート調査が行われたが、本町はどのように回答したのか。

福祉部長 厚生労働省が実施した重層的支援体制整備事業の実施に関する所要見込み額等調べの件だと理解し答弁する。当該事業は介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮分野の既存の各事業を一体的に実施することとしており、市町村の財源に基づくものである。本町では同事業を実施するためには、職員体制等を整える必要があることから、現時点で実施する見込みはないと回答している。

問 改正法では、「重層的支援体制整備事業」が明記され、これは「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくり」を一体化して行うものである。この新事業は、国の財政支援のもと、市区町村の手上げ方式で行われるが、本町の見解を問う。

期間を要す。可能な限り早期の執行ができるよう留意していきたい。

問 町の各種委員会や関係団体（事務担任者会、自治会長会、民生・児童委員会、農業委員会、社会福祉協議会、商工会）との意思疎通、連携や情報の共有化はしているか。又、課題等はないか。

総務部長 自治会長会は開催できない場合もあったが、電話連絡等で連携を図り支障なく対応。要望があれば必要な情報提供にも努めている。

福祉部長 町社会福祉協議会とは貸付状況や食料支援の状況等の情報を共有し、必要な支援について話し合い連携を図っている。民生・児童委員協議会は一時的活動を自粛していたが、役員の電話対応、必要時に最小限の役員で来庁してもらい意思の疎通や情報共有を図っている。

農業委員会事務局長 情報の共有化は随時行っており、総会等の会議は広めの会議室確保、マスク、距離、換気対策を行い開催。

建設部長 町商工会には、本町の中小企業向け対策事業を会員に向け周知、窓口案内してもらい、同時に商工会で行っている持続化給付金相談窓口について本町のホームページで紹介。

問 台風後のごみ収集は。台風後の町道等の街路樹や飛散ごみ等の対応は。

福祉部長 重層的支援体制整備事業は、市町村において既存の相談支援等の取組を生かしつつ、地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体化として行うものである。事業実施の際には、これらの3つの支援に基づく全ての事業を実施することが必須であるため、関係機関との調整や、職員配置等の体制を整える必要がある。今後、他市町村の取組状況も踏まえながら検討していきたい。

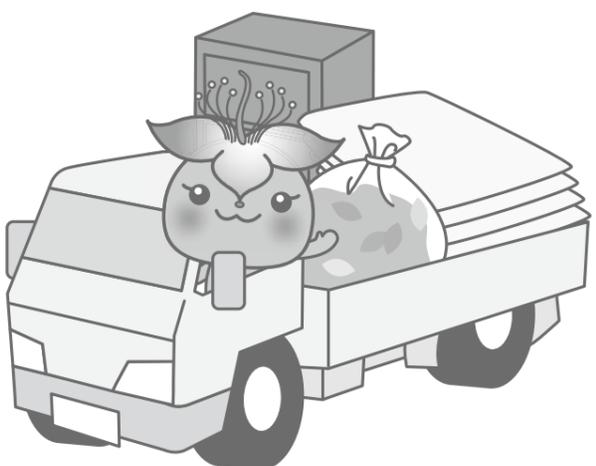
その他の質問
●台風9号・10号の被害状況
●本町の災害ハザードマップ
●児童クラブ・学童 ●福祉行政
●教育行政 ●定額給付金 ●第2次補正予算



建設部長 土木課の一般職員が分担して巡回パトロール、応急対応を行う。倒木した樹木や飛散ごみ等を回収し、処分業者へ搬入して処理をしている。

問 上間町長3期12年間の町政運営
町長3期12年間の感想と、今後の町政への思いは。

町長 町民との約束、公約を実現していくことが最大の命題であり、おおむね実現し得たと思う。財政状況の改善や累積赤字の問題については、ぜひ行政と議会が一体となって取り組まれることを切に望んでいる。



■新型コロナウイルス対策

問 現在までのその対策事業の評価は。又、課題はないか。

総務部長 感染拡大防止の為、公共施設や学校、保育所、学童施設等の衛生用品、備品等の整備、経済・生活支援として企業への支援金や支援体制の確保を実施。商品券等の事業や新しい生活様式への対応として行政スマートフォンや児童相談システム導入を予定。現在、事業評価まで至っていない。課題として全国的に物品や備品等の需要が高まり納品に時間がかかり、さらに交付金の目的に沿った活用方法を十分検討する必要がある、事業立案、執行に一定の

きな まさもり
喜納 昌盛 議員



■重層的支援体制事業について

問 地域共生社会の実現に向けて、貧困や介護、孤立などに対する市区町村の相談支援体制を強化するため、社会福祉法が今年6月改正され、2021年（令和3年）4月から施行される。改正の背景と内容を伺う。

福祉部長 今回の社会福祉法改正の背景は、これまで高齢、障がい、子供など特性別、対象者別に支援制度が整備されてきたが、核家族化の増加や地域社会の希薄化、支援ニーズが多様化、複雑化したために現行制度のもとでの支援では困難となり、これまでの制度、運用を超えた複合的な課題に対応す

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

■台風後のごみ収集

台風後の町道等の街路樹や飛散ごみ等の対応は。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。



みやざと ひろふみ
宮里 洋史 議員

行政改革の取組み

問 各市町村認定こども園を進めているが、公立幼稚園を認定こども園にした時の財政効果はどのくらいになるのか。

福祉部長 大ざっぱな試算ではあるが、4施設分の合計でおよそ3〜4,000万円程度抑制できる可能性があるのではと考えている。

子ども医療費無償化拡充へ

問 子育て政策の中で強く要望があるのは、こども医療費助成制度の拡充である。通院費15歳まで拡充すると、単費負担はいくらか。

こども課長 5,200万円程度と考えている。

子ども課長

問 県が15歳まで無料化したときは、町は県と歩調を合わせてやろうと思う。そのとき西原町の負担金がこの5,200万円の2分の1になるので2,600万円になる。ということとは、やはり2,600万円単費を準備しないといけない。様々な改革をして、ただ予算が浮くからやるわけではなく、その財源で何をするかという、リンクさせることが町民の理解を得られることだと私は思っている。例えば小学校6年生までだったら幾らかかるのか。

こども課長 3,500万円を想定している。

問 隣町はやっているけれども本町はできていない。だけど姿勢は見せてほしいと思う。例えば

ば小学校3年生まで医療費を無料化したら、県がやるまで、単費でやったときにある程度芽が見えてくる。今は小学校就学前だけでも、町独自で進めている姿勢を見せたら、町民も理解はすると思う。

福祉部長 確かに我が町は今遅れがあるが、可能な限り県と歩調を合わせた形で実施できたらと思っている。

自治会支援策は

問 西原町自治会事務所建設等補助金について、家賃補助の要望もあったが、現在の状況を伺う。

総務部長 令和2年度の予算編成時に、自治会長全員の合意を得ることができず、令和2年度の実施は見送っているところ。今後、再検討していく。

その他の質問

- 放課後児童健全育成事業について
- 行政運営について
- 町契約規則について



いけい ひろこ
伊計 裕子 議員

少人数学級の実現を

問 7月初め全国知事会会長、市長会会長、町村会会長の連名で「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」を出し、「少人数編成を可能とする教員の確保」を文部科学大臣に要請。緊急提言の前文では、「子どもたちの学びを保障するためには、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保がぜひとも必要である」とある。町の見解を聞く。

教育部長

少人数学級を進めることは、児童生徒へのきめ細かな対応につながり、また教職員の働き方改革にもつながると考えている。西原町教育委

来年度、入学準備金の入学前支給実現

問 就学援助制度の入学準備金の入学前支給実施に向けての準備状況を聞く。

教育部長 9月18日付で関係規則等の改正作業を終え、当初予定通りの進捗状況である。10月実施予定の就学時健康診断にて対象者へチラシ配布による制度の周知を図り、12月〜1月申請受付、2月頃認定作業、3月支給処理完了の予定である。

就学援助コロナ禍による家計急変世帯も対象

問 コロナ禍による家計急変の際への対応はどのようになったか。

教育部長 新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯に対し、失業や減収等を証明できる書類等を提出することで、特例的な措置が可能となるよう6月に基準を制定し、対応している。

コロナ禍による国保税減免状況は

問 新型コロナウイルス感染症の影響による国保税減免措置の実施状況を聞く。

福祉部長 56件の申請を受け付け、9月16日現在で49人の承認を行っている。

世帯主のみでは3割減にならないが、世帯全体の収入では3割減になるといふ方々から問い合わせ等があったかどうか。

福祉保険課長 相談があったという報告はないが、もしあった場合は、現行の減免制度、その他特別事情により保険税納付が困難な場合が適用する可能性があるため、そちらで検討する。

[お知らせチラシ]
令和3年度 入学予定者のみなさまへ
就学援助制度の「入学準備金」の入学前給付についてのお知らせ

西原町教育委員会では、小中学校に通学する児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費など学校教育に必要な費用の一部を援助する「就学援助制度」を実施しています。

今回、令和3年度に就学される「現6歳児」及び「現小学6年生」に限り、新入学児童生徒学用品費等を「入学準備金」として、入学前の3月に前倒し給付することになりましたのでお知らせします。

▲教育委員会お知らせ用チラシより抜粋

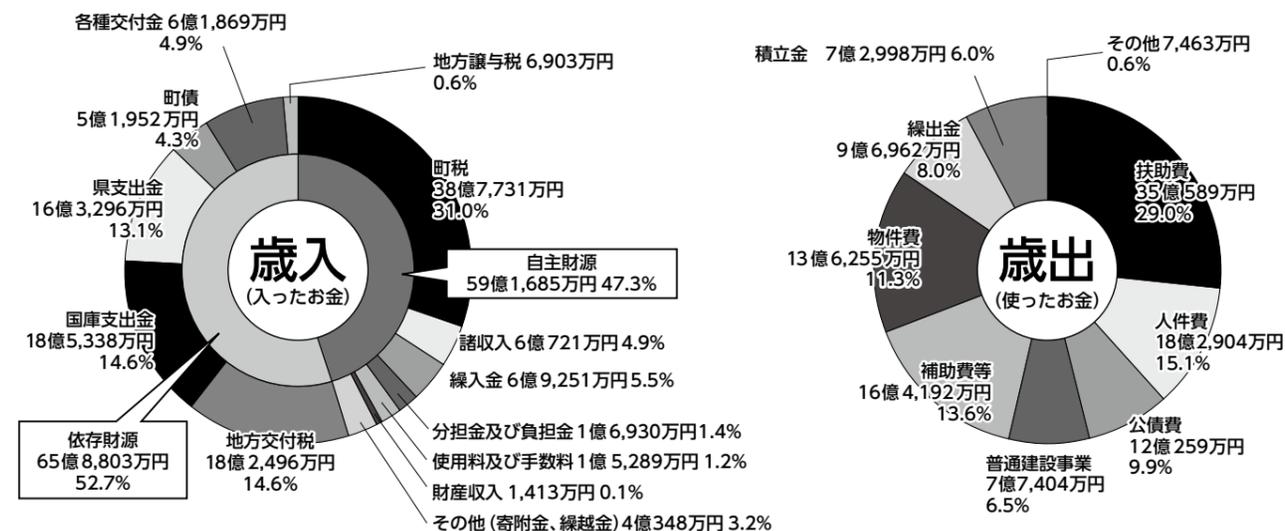
第6回定例会 令和元年度 決算審査



9月16日～10月2日

第6回定例会は、9月16日から10月2日まで17日間の会期で行われ、一般質問、補正予算、条例修正、新規条例や令和元年度決算などの審議を行いました。

決算では決算特別委員会を設置し、該当事項を所管する各常任委員会に付託し、財務処理の全体を通して、その執行が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたか否かの適否を審査しました。その結果、全議案について、全会一致で認定しました。



令和元年度 一般会計・特別会計決算の状況

区分	歳入			歳出			
	決算額	前年増減額	前年比	決算額	前年増減額	前年比	
一般会計	125億489万円	5億1,479万円	4.3%	120億9,094万円	4億8,018万円	4.1%	
特別会計	国民健康保険	39億8,654万円	▲8,010万円	▲2.0%	48億4,258万円	▲1億5,132万円	▲3.0%
	公共下水道事業	4億7,772万円	▲4,781万円	▲9.1%	4億4,236万円	▲6,953万円	▲13.6%
	土地区画整理事業	2億8,798万円	▲3,414万円	▲10.3%	2億8,456万円	▲3,310万円	▲10.4%
	後期高齢者医療	2億7,676万円	1,309万円	5.0%	2億7,613万円	1,364万円	5.2%

賛否が分かれた議案 (副町長の選任について)

令和2年10月16日第7回臨時会で提案された福祉部長の小橋川健次氏を副町長に充てる人事案は、賛成10、反対5、退席3の賛成多数で同意しました。

令和2年 第7回 臨時会同意第19号 賛成多数で可決

賛否	宮里芳男	真栄城哲	與儀清	太田實	山城勝貴	儀間駿太郎	伊集悟	長浜ひろみ	伊計裕子	大城誠一	平良正行	喜納昌盛	新川喜男	宮里洋史	大城純孝	屋比久満	儀間信子	前里光信
賛否	退	退	○	○	○	○	○	○	×	×	×	退	○	○	○	○	×	×

○…賛成 ×…反対 退…退席

令和2年 第4回臨時会 議案議決結果

議案第46号	工事請負契約締結について (西原町農水産物流通・加工・観光拠点施設新築工事 (外構 R2-1))	原案可決
議案第47号	西原町税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第48号	令和2年度西原町一般会計補正予算について	原案可決

令和2年 第5回臨時会 議案議決結果

議案第49号	令和2年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第50号	令和2年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
発議第1号	西原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決

令和2年 第6回定例会 条例改正・報告議案

報告第4号	令和2年度西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書 (令和元年度事業実績) について	報告
報告第5号	令和元年度西原町健全化判断比率の報告について	報告
報告第6号	令和元年度西原町公営企業会計資金不足比率の報告について	報告
報告第7号	令和元年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告
報告第8号	令和元年度放棄した債権の報告について	報告
報告第9号	専決処分の報告について (西原町農水産物流通・加工・観光拠点施設新築工事 (機械 R1-1))	報告
認定第1号	令和元年度西原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和元年度西原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和元年度西原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和元年度西原町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第5号	令和元年度西原町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和元年度西原町水道事業会計決算認定について	認定
議案第51号	町道路線の認定について	原案可決
議案第52号	令和元年度西原町水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第53号	西原町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第54号	令和2年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第55号	令和2年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第56号	令和2年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第57号	令和2年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
同意第6号	農業委員会委員の少なくとも4分の1を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とする事について	同意
同意第7~18号	農業委員会委員の任命について (12名)	同意

皆さんからの陳情等・意見書はこうなりました

9月定例会で審査した陳情・意見書・決議の結果を報告します。

陳情第840号	新型コロナウイルス感染症対策に係る定期予防接種並びにインフルエンザ予防接種についての要望について	採択
陳情第841号	地元県産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	採択
陳情第842号	県産品の優先使用について（要請）	採択
陳情第846号	西原町保育施策の拡充について	採択
意見書第8号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	原案可決
決議第3号	議員報酬等調査特別委員会設置に関する決議	原案可決

新型コロナウイルス対策へ議員報酬を2万円減額

去る8月17日の第5回臨時会において、議員報酬条例の一部を改正し、議員19名で1人あたり2万円（合計38万円）を減額する案が可決されました。減額分は、一般財源に繰り入れ、西原町新型コロナウイルス感染症防止対策等基金へ充当されます。

議会活動

議員研修

例年、4月以降には県町村議会議長会主催による各種研修会が開催され、本町からも参加しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、9月末現在、これまで中止となっております。再開され次第、記事掲載を行ってまいります。

おわびと訂正

大変ご迷惑をおかけしました



議会だより第81号（2019年9月1日発行）で次のとおり誤りがありましたので、おわびして訂正します。

5P 真栄城 哲議員の一般質問中、問2及び問3に対する答弁者。

（誤）都市整備課長 → （正）都市整備課主幹

題字制作番



西原小学校3年
みやま まひろ
宮城 茉弘さん

【ひとこと】

一生懸命書きました！
好きな教科は、図工や音楽が大好きです。
体育も大好きで、6段まで跳べるようになりました♪

表紙の題字と写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の題字（『議会だより』の文字。横書き）と写真を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先

議会事務局（担当：漢那）

TEL:945-5122 FAX:945-5045

mail:gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

9月議会の傍聴者

延べ人数

37人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局
TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員 儀間 駿太郎

2020年も残り僅かとなり夏の蒸し暑さが少なくなってきました。季節の移り変わりがわかりにくい沖縄県ですが、多くの社会人がかりゆしウェアからスーツに衣替えをしていく様子で冬に近づいているのを感じる方も多いのではないのでしょうか。

この2020年は世界中が大きく変わった年になったと思います。新型コロナウイルスという病の流行により生活様式の変化を身に染みて感じた事が多くあったのではないのでしょうか。

普段の生活はもろろんのこと、多くのイベント等を含め経験したことのない事ばかりでした。つい先日行われた小学校の運動会も各学校感染症対策をしながらの開催。普段とは違う形でしたが、子供たちの笑顔、見に来てくれた家族の笑顔、先生たちの笑顔を見るのが出来たのはとても感動しました。私が学生時代、尊敬する先生に言われた今でも忘れられることができない言葉があります。「大変な事を経験する事で人は大きく変わることが出来る。だから大変な事は苦しいが乗り越えるると自分自身が大きく変わる事ができる」

今、生きていく中で大変な事が多くありますが、この困難を乗り越えたと世の中もそして私たちも大きく変わることができ、未来は明るくなるかと信じています。

じぶんやね